

医院だより

令和5年7月(240)

秋山医院

藤岡市小林748-8

☎0274-22-8315



七月

別名 文月(ふづき)・建申月(けん

しんげつ)・孟秋(もうしゅう)

「文」(ふ)は「穂含(ほふみ)」 「含(ふくみ)が語源ではないかといわれます。稲穂の実が膨らむ月と考えられています。

ひまわり

目次

- 1 七月の異称、七月の花
- 2 七月の言葉、七月の暦
『かかりつけ医』について、お知らせ
- 3 診療案内、
健康テレフォン、
- 4 日野原先生の『人生を輝かせる10のお話』
大岡 信選集、けんこう(一六三)
- 5 院長のひとりごと(二〇九)

七月の花

合歡木(ねむのき)、百日紅(さるすべり)
「合歡木」は夜になると小葉が閉じて垂れ下がりが眠っているように見え、男女共寝の姿からの名前。

『百日紅』は長い期間花が咲いていることから。『さるすべり』は、樹皮がつるつるして、木登り名人もサルも滑ってしまうかもしれない、ということからの命名。

木槿(むくげ) 「睡蓮(すいれん)」
『蓮(はす)』 「野花菖蒲(のはなしょうぶ)」 『擬宝珠(ぎぼうし)』 『紅花(べにばな)』 『透百合(すかしゆり)』 『日光黄菅(にっこうきすげ)』 「山芋環(やまおだまき)」 『乳母百合(うばゆり)』 「振花(ねじばな)」

『七月の言葉』

まことに彼はわれわれの病を負い、われわれの悲しみをになった。しかるに、われわれは思った、彼は打たれ、神にたたかれ、苦しめられたのだと。しかし彼はわれわれのことがのために傷つけられ、われわれの不義のために碎かれたのだ。彼はみずから懲らしめをうけて、われわれに平安を与え、その打たれた傷によって、われわれはいやされたのだ。

(イザヤ書五三・四―五)

最も偉大なことは、人に勝つことにあらず、人に負ける事なり。彼にわが場所を譲ることなり。その下に立つ事なり。喜んでその侮辱を受けることなり。つばきせられて十字架につけらるる事なり。かくなし、かくなされて、われは初めて神の心を知るを得るなり。まことに高き者は低くせられ、低き者は高くせらる。われら、神に高くせられんと欲すれば、人に低くせられざるべからざるなり。

内村鑑三「一日一生」六月二十五日

『七月の暦』

一日 社会を明るくする運動、全国安全週間、国民安全の日、富士山開き

二日 半夏生 一般的には『つゆあけ』といわれ、だいたい新暦七月二日ごろに当たります。半夏生の語源は、半夏(からすびしゃく)という薬草が生ずる時期から来ています。

四日 米国独立記念日

五日 栄西禅師忌

七日 小暑、七夕 小暑とは、梅雨が明けて本格的に夏になるころのこと。この小暑から立秋になるまでが、暑中見舞いの時期です。

初候 (温風至る)夏の風が、熱気を運んでくるころ。梅雨明けごろに吹く風を、白南風(しろはこ)と呼ぶそうです。

(新暦では、およそ七月七日～七月十一日ごろ)

次候 (蓮始めて開く)蓮の花が咲き始めるころ。夜明けとともに、水面に花を咲かせます。

(新暦では、およそ七月十二日～七月十六日ごろ)

末候 (鷹乃学を習う)(たかわぎをならう)鷹のひなが、飛び方をおぼえるころ。

(新暦では、およそ七月十七日～七月二十一日ごろ)

十七日 海の日

二十日 土用

二十三日 大暑 大暑とは、最も暑い真夏のころのこと。土用のうなぎ、風鈴、花火と、風物詩が目白押し

初候 (桐始めて花を結ぶ)桐が梢高く、実を結びはじめるころ。和の暮らしの中で、桐は家具として役立ってきました。

(新暦では七月二十二日～七月二十七日ごろ)

次候 (土潤いて溽し暑し)(つちうるおいてむしあつし)むわつと熱気がまとわりつく蒸し暑いころ。打ち水や夕涼みなど、暑さをしのぐひとときを。

(新暦では、およそ七月二十八日～八月一日ごろ)

末候 (大雨時行る)(たいうときときふる)夏の雨が時に激しく降るころ。むくむくと青空に広がる入道雲が夕立に

(新暦では、およそ八月二日～八月六日ごろ)

二十四日 河童忌(昭和二年芥川龍之介没)
二十九日 相馬野馬追大祭(三十一日まで)

参考 令和5年神宮館運勢暦(神宮館)

暮らしの歳時記365日『今日は何の日か?』講談社

『かかりつけ医』について

当院では、日本医師会に認定された日医かかりつけ医機能研修制度の「かかりつけ医」が診療にあたります

- (かかりつけ医制度は未だ定義があいまいなところがあり、
- ①患者さん自身にとってなぜかかりつけ医が必要なのか
- ②かかりつけ医以外に受診できなくなることではないの

か、などの疑問点が国からまだ十分説明されていないことを指摘している人もあります。）

お知らせ

一、マイナナンバーカードでの受付ができます。保険証の代わりになります。将来的には他院での処方や特定検診結果もここから知ることができます。

・まだマイナナンバーカードがない方は、月の最初の受診時には、**受付に保険証**をご提示ください。

・**受診券はいつも必要です。**

説明（私見） 2024秋に現在の健康保険証を廃止するとして強引にマイナバーカードを推し進めた政府は、相次ぐトラブルの出現に25年秋まで1年間の猶予期間を設けました。「国民の不安払拭が前提との認識」といつているが、これは見当外れの詭弁です。準備不足であり、実際に国民を混乱させ不利益を与えてしまっている事実に対する反省が全くないことが極めて無責任と考えます。

二、診療案内

- 一般外来診療・往診・在宅医療
- 骨粗鬆症の検査・治療

○ピロリ菌の検査と治療

○CT、MRI、PETの予約

○胃カメラ（**施行しています**）・

大腸カメラ（4月から開始しました）

○肺炎球菌・带状疱疹ワクチン

三、当番医 ①九月十七日（日）

9時から18時まで

四、5月8日からコロナ対応の変化（制度）

新型コロナ「2類相当」↓「5類」に変更されました。
どこが変わるか？

- ①医療費やワクチン接種の公費負担は段階的に縮小
- ②コロナ患者に対応する医療機関を段階的に拡大
- ③医療費の公費負担と医療提供体制も変わる
- ④マスク着用は屋内外を問わず、個人の主体的な選択を尊重
- ⑤感染者の全数把握を終了、定点把握に移行

五、群馬県保険医協会二十四時間健康テレホン

電話〇二七―二三四―四九七〇

<http://www.raijin.com/kenko/>

月	骨のお薬と歯科治療
火	中高年の散歩のコツ
水	歯垢・歯石と歯周病
木	骨折の予防と治療
金	乳腺の炎症
土日	乳がん検診とブレスト・ アウエアネス

セイヨウフウチョウソウ（西洋風蝶草）



日野原先生の文章から

…具体的に説明しますと、まず、たくさん
の果物を前において、「君たちの心臓はどれくらい
の大きさだと思っ？」と聞きます。だいたいの子
は、リンゴなどを手に取りますので、「違っよ、
君の体を動かす心臓はね、このレモンくらいの大
きさなんだよ」と説明します。

そうすると、とてもびっくりした顔をします。
こんな小さいものが自分の命を支えているのか、
と思うのです。

続けて聞きます。「じゃあ、このレモンくらいの
心臓に支えられる君の命って、どこにあるんだろ
う？」そうすると、みんな一所懸命考えます。そ
していろいろな答えを出すのですが、いまいちピ
ンときていない。「いのちというのはね、目に見え
ないんだよ。いのちは、君が『この世で使う』と
できる時間なんだよ」と。そうするとさすがに子
供というのは直観力が鋭いですね、ハッとしてと
ても合点がいった顔をします。

その答えを出したうえで、彼らに「一日をどう
過ごしているか、円グラフを描かせます。そうす
ると、大切な『いのちの時間』を、いかに他の人の
ために使っていないかという二つに気がつくよう
です。

ですから、それではダメなんだよ、と諭します。
「家の手伝いでも、地域の公共施設の掃除でも良

い。きみの『いのちの時間』を、他のいのちのため
にも使わなければいけないよ。人はそうやって、お
互いの『いのちの時間』を分け合って生きていくも
のなんだよ」

日野原重明「子どもを輝かせる10のお話」

生きてみてこんなものかといふ声す

自らの声かあるいは死者の

扇畑忠雄

「短歌作品集成 下」(平八)所収。七十歳代後
半の歌を集めて『植物相』と題する作品群の中に
ある。「移りゆくものをみづから計るなしたとへ
ば老いの齡(よはひ)のゆくへ」と老境に入っても
特に老齡を意識してはいないと 歌う一方で、長
く生きてみて、結局「こんなものかという声が聞
こえてくるとも歌う。「自らの声か或いは死者
の」という省察に、年齢に伴う死への自然な接近
観があるのだろう。

とどめおきて誰をあはれと思ふらむ

子はまきるらむ子はまきりけり

和泉式部

『後拾遺集』卷十哀傷。和泉の娘小式部内侍
がお産で急死した。彼女にはほかの子もあつ
た。「娘は母(和泉自身)と子をこの世に残し

て逝ったが、今頃母と子のどちらを哀れと思つて
いるだろう。子どもこそいといいだろう。いとし
いにきまっている」。母親と孫、すなわち自らの遺
児とを比べた場合、小式部にとっては遺児の方
が一層いとはいはずだ、と言下に言い放ってい
る。今日でも範とするに足るほどの冷徹な自己
認識。

大岡 信著『新折々のうた』三 岩波新書



ユウゲシヨウ

けんこう (百六十二)

新型コロナウイルスの「5類以降」後の制度や生活

(5月8日読売新聞より)

一 感染者への対応

- ① 自宅待機(外出自粛)
自治体による要請はなくなり、個人判断に。政府は「発症後5日間」は外出を控えることを推奨
- ② 入院
入院勧告・指示はなし。個人判断に
小中高校などの児童生徒
「発症後5日間」かつ「軽快後1日」が過ぎるまで出席停止
- ④ 医療体制
幅広い医療機関で対応する通常の体制へ段階的に移行
- ⑤ 医療費の窓口支払い分
原則、自己負担。コロナ治療薬(経口薬: ラゲプリオ、ゾコバ、点滴薬: バクルリー、中和抗体薬: ロナプリーブ、ゼビュディ、エバジェルド)や入院医療費は急激な負担増を避けるため、9月末まで、高額療養費の自己負担限度額から2万円を減額、2万円以下の場合はその額を減額する。
- ⑥ ウイルス検査

費用は原則、自己負担

高齢者施設などのクラスター対策は支援継続

二 日常の感染対策

- ① マスクや、店舗などでの対策
個人や事業者の判断

三 ワクチン

- ① 接種費用

2024年3月末までは自己負担なし

四 感染動向の把握

- ① 感染者の把握

毎日の全感染者数の集計は終了。全国約5000医療機関の患者数を週1回公表する定点把握に変更

- ② 死者数

毎日の集計は終了。約5か月遅れの「人口動態統計」で月単位の公表に

五 政府・自治体による制限

- ① 緊急事態宣言など

緊急事態宣言、まん延防止等重点措置とも適用できない

- ② 行動制限

特措法に基づく営業自粛、外出自粛要請などではない

- ③ 水際対策

入国時の陰性証明かワクチン接種証明の提示は、4月28日で既に終了。

六 これからのワクチン接種に関して

- ① 世界子供白書2023で世界では2019〜21にかけて約6700万人の子供たちがワクチン接種機会を逸したと報告

- ② UNICEFは、世界的予防接種低下の理由として、

・パンデミックに対する不安
・ソーシャルメディアなどを介した誤解を招く情報へのアクセス増加
・専門家に対する信頼の低下
・政治的に二極化
などにより、ワクチン忌避が発生しやすくなっている可能性を指摘している。

- ③ 接種機会を失った子供たちはアフリカや東南アジアに多いが、日本でも、麻疹風疹ワクチン第1期接種率が98.5%(2020)から93.5%(2021)まで低下していることがわかった。空気感染疾患である麻疹の集団免疫閾値(ある集団において感染症が伝播するのを防ぐのに必要となる免疫を持つ人の割合)は92〜94%とされていて、今後海外からの訪日客が増加することを考えると、国内における麻疹再流行の可能性が高い。
- ④ 日本は、COVID-19流行以前からワクチンに対する信頼性が最も低い国として知られていた。COVID-19流行後は重要

性を認識する率は30%低下し54%にとどまっているとされています。

ワクチンのありがたみを実感できない、有害事象は強烈に報道されることが原因か？

七、群馬県感染症発生動向調査より

(群馬県衛生環境研究所感染制御センター報告より)

(1) 新型コロナウイルス感染症の報告が増加している。感染対策として、手洗いや換気、マスクの効果的な場面での着用などが有効。

(2) 感染性胃腸炎の報告が継続している。ふん便や嘔吐物を処理する時は、使い捨て手袋を着用し慎重に行う。消毒薬は塩素系漂白剤(次亜塩素酸ナトリウム)が有効

(3) ヘルパンギーナの報告が増加しています。飛沫感染、接触感染、汚染された手などを介して感染するので手指は石鹸と流水で良く洗うようにしましょう。

症状は、突然の高熱(38~40℃)と咽頭痛が主症状。口の中に水疱、痛みで食欲不振になる。乳幼児に多くみられる。

院長のひとりごと(二〇九)

I 氏のこと

◇『えええつ、先生はどうして巴御前のことを知ってるんですか?』

と往診先のベッドに上半身を起こして、ベッドサイドの私の方に身を乗り出して言うわれた。

◆往診が始まって、2回目のことだった。ご出身の上野村が木曾義仲を将として京都に攻め上り、平家一門の都落ちの原動力になった一党の末裔たちが住み着いたところと聞いていたので、それについての言い伝えなどが今でも残っているのだろうかと尋ねてみたのが発火剤となった。

◇いつも背筋を伸ばし、キツと相手の眼を見て話される方だったので、

「わあ、感激した、先生が巴御前のことを知って居てくれたとは…」

と、こんなに心が動揺された氏を見たことがなかった。

古典としての「平家物語」など戦記物を好んで読んでいたことがあったので、その中で「巴御前」という女武将は特別に目立つ女性であった。戦記物では女性には悲しい話が付きまとうのが一般であるが、逆にア

マテラスから始まり、持統天皇、北条政子、日野富子などの女性偉人群は、強すぎて親しみがわきにくい気がする。

◆往診の帰り、氏はどうしてあれほど喜んだのだろうかと考えてみた。

郷土の英雄といわれている人では、私は新潟の生まれだから、上杉謙信のことを評価さればうれしいし、田中角栄氏のことでも石原慎太郎氏が「天才だ」と持ち上げれば、やはり本を買って読んでみたくなる。

◇源義仲(木曾義仲)とともに京に上り、平家を都落ちに追い詰めた木曾軍団は後白河法皇の平家追討の命に従って働いたのだから、本来は一番の功労者であった。しかし、宮廷での無作法、都での狼藉を嫌われ、遂には義仲の父親(源義賢)が甥(源義平)に討たれたと同じように従兄である頼朝、範頼、義経の軍団に討たれてしまうことになる。

◆義仲が亡くなる寸前に、女性でありながら豪快無双の同じ乳母親をもつ巴御前が登場し、義仲に諭されて去っていくのだが、義仲に最後の自分の忠義・活躍を見せたいと願い、「手頃?」の武将を物色、見事

これを討つて去つていったと「平家物語」は語る。

『木曾は信濃を出でしより、巴、山吹とて、二人の美女を具せられたり。山吹は勞わりあつて都に留まりぬ。中にも、巴は色白う、髪長く、容顔誠に美麗なり。究竟(くつきよう)の荒馬乗の、惡所落、弓矢、打物取つては、いかなる鬼にも、神にも逢ふと云ふ、一人當千の兵(つわもの)なり。

……………

木曾殿、巴を召して、汝(おのれ)は女なれば、此れより、疾(と)う疾う、何地(いづち)へも落ち行け。義仲は討死をせむずるなり。もし人手に懸からずば、自害をせむずれば、義仲が最後の軍(いくさ)に、女を具したりなど云われむこと、口惜しかるべし』と宣へども、猶も落ちも行かざりけるが、餘にも強う云はれ奉つて、「適(あつぱ)れ、好からう敵の出で来よかし。木曾殿に最後の軍して見せ奉らむ」とて、控へて敵を待つところに、爰(こゝ)に武蔵の国の住人、御田の八郎師重(もろしげ)と云ふ大力の剛の者、三十騎ばかりで出で来る。巴、其の中へ割つて入り、先

づ、御田の八郎に押並べ、むずと組んで引き落し、わが乗つたりける鞍の前輪に押し附けて、ちつとも働かさず、首振切(ねじき)つて捨ててんげり。其の後、物具(ものぐ)脱ぎ捨てて東国の方へぞ落ち行きける。

……

木曾殿、今井の四郎、ただ主従二騎に成つて、宣ひけるは、「日頃は何とも覺(おぼ)えぬ鎧が、今日は重ふなつたるぞや」と宣へば、今井の四郎申しけるは、「御身も、未だ疲れさせ給ひ候はず、御馬も弱り候はず、何に依つて、一領の御著背長(きせなが)を、俄に重うは思し召され候ふべき。其れは、味方に續く勢が候はねば、臆病(おくびやう)でこそ、然(さ)きは思し候ふらめ。兼平一騎をば、餘(あまり)の武者千騎と思召し候ふべし。此処に射残したる矢七つ八つ候へば、しばらく防矢(ふせぎ)や仕り候はむ。あれに見え候ふは、栗津の松原と申し候。君は、彼の松の中へ入らせ候へて、静かに御自害候へ」とて、打つて行く程に、また、荒手の武者五十騎ばかり出で来る。兼平は、「此の御敵、暫く防ぎ参らせ候ふべし。君は、あの松の中へ入らせ給へ」と申しければ、義仲、「六條河原にて、如何にも成るべかりしかども、汝と一所で、如何にも成りなむ為(ため)にこそ、多くの敵に後

を見せて、此れまで遁れたんなれ。所々で討たれむより、一所でこそ討死をせめ」とて、馬の鼻を並べて、既に蒐(か)けむとし給へば、今井の四郎、急ぎ馬より飛んで下り、主の馬の水づきに取り付き、涙をはらはらと流いて、「弓矢取は、年頃、日頃、いかなる高名候へども、最後に不覺しぬれば、長き瑕(きず)にて候ふなり。御身も疲れさせ給ひ候ひぬ。御馬も弱つて候、云ふ甲斐なき人の郎党に組み落とされて、討たれさせ給ひ候ひなば、然(さ)しも日本国に鬼神と聞えさせ給ひつる木曾殿をば、何某(なんが)が郎等の手に懸けて、討ち奉つたりなど申されむ事、口惜しかるべし。只だ理(ことわり)を枉(ま)げて、あの松の中へ入らせ給へ」と申しければ、木曾、然らばとて、

木曾義仲(ウィキペディアより)



ただ一騎、栗津の松原へぞ駆け給ふ。』

……

◇今井の四郎は、五十騎を相手に奮戦を続けていた。

一方義仲は、死処を求めて栗津の松原をめざして馬を走らせたが、正月二十一日の日暮れ時で薄氷が張った田圃に乗り入れたところ深田だったため馬の頭も隠れてしまった。今井はどこかと振り向いた時、喉に矢を受けてしまった(三十一歳)。三浦の石田の次郎為久が討ち取ったと名乗りを聞いた四郎兼平は、もはやこれまでと太刀を口に含み馬から逆様に飛び降りて自害した。三十三歳だった。

今井四郎兼平(ウィキペディアより)



◆今井四郎兼平と巴は兄妹、義仲は四郎

の2歳下で、3人が乳兄弟(妹)であった。全くの兄弟と同じように幼少時代から成長したが、義仲は兼平に頼りきりのところが見える。死が間近になると、鎧が重くなると兼平に訴え、励まされ気を取り直す。巴が最後まで義仲と一所に闘い、一緒に死にたいということには、生き延びてくれと去らせてしまう反面、最期の最後まで兼平と一緒に死にたいと駄々をこねて、時間を消費してしまっている。そんな義仲を兼平は実の弟のようにかわいくて、そして

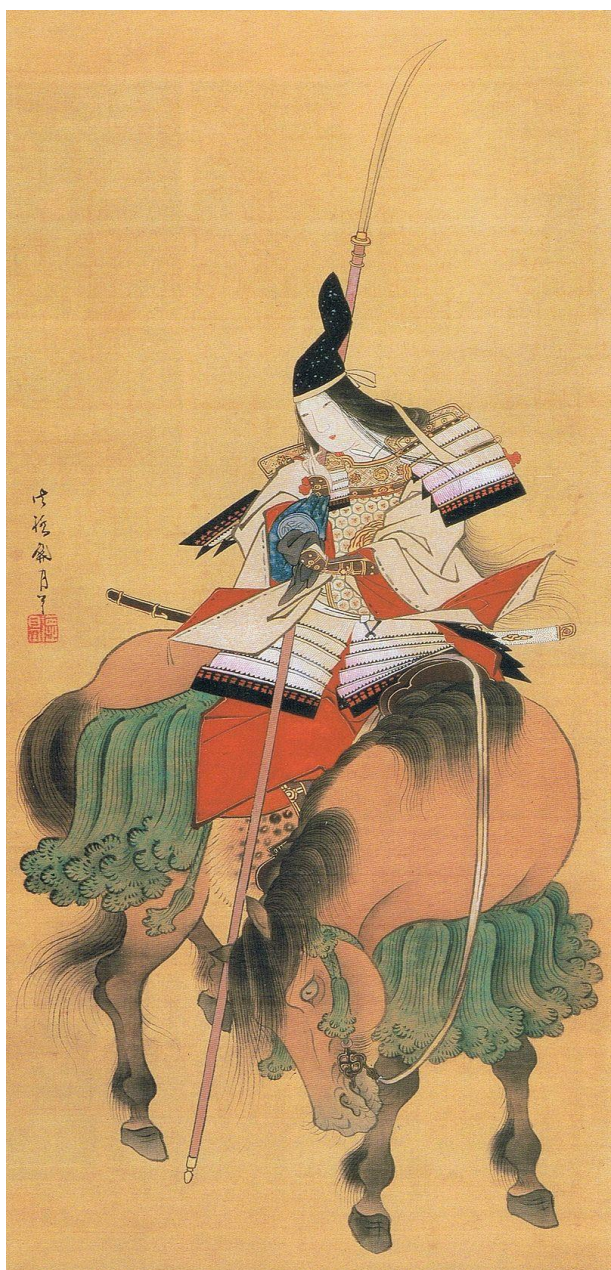
気の毒で仕方なかったであろう。

噛んで含めるように説得している場面は涙を誘う。栗津の松原まで逃してやれずみすみす敵の手にかかって命を落としたあとも冥途でも義仲を守ってやろうと、急いで後を追った。

◇義仲の歴史上の評価はあまりよくないが

「田舎者」と見下し、陰で笑う朝廷、貴族の社会で右往左往する姿は痛々しい。真に栗津の松原を前にして泥田の中でもがく義仲と馬の姿を予表しているようである。そんななかでも俳人芭蕉が、義仲を偲んで「自分が死んだら義仲寺(志賀県大津市)にある木曾塚の隣にわたしの亡骸

巴御前(ウィキペディアより)



を埋葬するように「遺言したということは義仲という人物を芭蕉に保証してもらえたような気がして、ホッとする。」

◆木曾義仲の物語が後世まで語り継がれている理由は、義仲の一途さと主従のつながりの美しさともいえるがそれだけではなく、平家物語にほんの一点所、強烈な印象を与える巴御前の存在が故ではなからうかと考える。

◇鮮烈な出現と、潔い退出に、私たちは言葉かけの間もなかった、そんな思いが残る。「平家物語」はその後を語らない。「源平盛衰記」に詳しいというのが「平家物語」だけで十分だと思う。たとえば虚構だとしても「巴御前」の「平家物語」への出現によって、義仲主従の物語も800年経ても、未だ生き生きとして私たちの心を揺さぶり続けている。

◆…という実感を、I氏も持って居られたのではなかったか？福田さん、中曽根さんを郷土の誇りとして語るのではなく、まさにこの自分の800年前の祖先兼平・巴御前たちの生きざまが、語った言葉が、思想が文字で今に伝わり、その時代を生きたと同じ血が自分の体の中を流れている

ことに気づいた時、氏の感情は激しく揺さぶられ、声が自然と震えてしまったのでしょう。

氏は1か月後、帰らぬ人となられたが、正にこの時期に私に往診する機会が出来たことは、氏にとつても私にとつても替えがたい機会であったように感謝している。

ハルシヤギク



グラジオラス

